



2011

Tsuruoka junior Chamber Inc.

REPORT

社団法人 鶴岡青年会議所

2011 年度

事業報告並びに 収支決算報告書

事業年度 自 2011 年度 1 月 1 日
至 2011 年度 12 月 31 日

2011 年度 社団法人 鶴岡青年会議所 スローガン

天性開花

～志高く更なる自己進化へ、この地域の未来のために～



一年を振り返って

2011 年度 社団法人 鶴岡青年会議所

理事長 工藤 規行

12月末を持って、2011年度社団法人鶴岡青年会議所の全事業にも幕を引くことができました。本年度理事長として一つの区切りの時かと思ひ感無量の感があります。

1月の創立45周年記念式典並びに記念祝賀会、2月の山形ブロック会長公式訪問が無事執り行われ、雰囲気もこれで上り調子に進めると思えた矢先、3月11日の大震災が全てを大きく狂わせました。

メディアから流れてくる大惨事が、直接の被害は無かった我々の心の中にも、時には突然に時にはじわじわと爪を立て、そしていろいろな傷を残して行きました。3月4月の事業も延期や中止となり、2011年がこのまま何もできずに終わってしまうのかとさえ思ったこともありました。

しかし一番先に頭に挙がったのは、地域の青年会議所として、被災地の他にも我々の住む地域そのものに対して何をしなければならないのかということであり、その結果としてまずは5月のわんぱく相撲と8月の赤川花火大会を例年どおりに開催できるかということでした。この二つが対外の折衝を含めた準備が多く、ここが狂うと他の事業の準備にも間違えなく影響が出るため、やることができれば災害に対する市民感情やJCを取り巻く環境もまずはクリアできると考えたからです。

そのため、これまで考えた事業を早々に通常の状態で開催し、同時に災害対応もしっかりしなければならぬと私なりの判断を致しました。

結果としては5月から予定通りの事業を開催され、8月には「希望の光プロジェクト」も開催できました。これは、私の判断に対しても直前理事長・特別顧問・監事・副理事長・議長には多くの意見をいただき、それをLOMのメンバーからも理解と協力が得られたこと、そんな我々に対し市民や外部団体・行政の皆様からのこれまで以上の温かいご支援とご協力をいただいたことに他なりません。

震災が起こったことそのものは私自身全く経験のないことではありますが、経験がないことでもいかにそれに取り組むか、その姿勢のあり方が私個人の今年一番の気付きだったと思います。そのなかでメンバーが困難にも果敢に挑戦し、自分の持ち合わせている能力にプラスして新たな能力を知り発揮する、それが今年のスローガンでもあります「天性開花」であり、多くの場面でメンバーが発揮してくれたと思います。

皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

2011 年度 社団法人 鶴岡青年会議所 会員数

2011 年度 1 月 1 日 会員数 96 名

2011 年度 入会者数	13 名
--------------	------

2011 年度 退会者数	5 名
--------------	-----

2011 年度 除名者数	2 名
--------------	-----

2011 年度 卒業者数	19 名
--------------	------

2011 年度 12 月 31 日現在 会員数 83 名

2011 年度 社団法人 鶴岡青年会議所 事業内容

1 月

6 日	第 1 回常任理事会	J C 会館
13 日	第 1 回理事会	J C 会館
15 日	第 90 回定時総会	東京第一ホテル鶴岡
15 日	1 月例会 「創立 45 周年記念式典・新春祝賀会」	東京第一ホテル鶴岡
20~23 日	日本青年会議所 「京都会議」	京都
22 日	東北地区協議会 「第 1 回会員会議所会議」	京都
22 日	東北地区協議会 「第 135 回通常総会」	京都
29 日	山形ブロック協議会 「第 1 回会員会議所会議・アカデミー開校式」	山形

2 月

3 日	第 2 回常任理事会	J C 会館
10 日	第 2 回理事会	J C 会館
15 日	2 月例会 「第一エリア山形ブロック協議会 会長公式訪問」	グラント・エルサン

3 月

3 日	第 3 回常任理事会	J C 会館
10 日	第 3 回理事会	J C 会館
13 日	3 月例会 「東北地区災害支援ネットワークシステム TADS ネット 概要説明並びにシュミレーション」	マリカ市民ホール
15 日	第 1 回臨時理事会	J C 会館
20 日	日本青年会議所 「第 136 回通常総会」	東京

4 月

7 日	第 4 回常任理事会	J C 会館
14 日	第 4 回理事会	J C 会館
22 日	4 月例会 「「徳溢れる心醸成プロジェクト」家訓づくりプログラム」	出羽ホテル
23 日	山形ブロック協議会 「第 2 回会員会議所会議」	酒田
24 日	17 L O M 協働運動事業 「東北復興に向けての災害活動支援金県内一斉募金活動」	鶴岡

28 日 第 5 回常任理事会 J C 会館

5 月

12 日 第 5 回理事会 J C 会館

21 日 5 月例会 「わんぱく相撲鶴岡場所」 鶴岡市小真木原運動公園相撲場

26~29 日 国際青年会議所 「AERA B 会議 (ASPAC)」 フィリピン

6 月

2 日 第 6 回常任理事会 J C 会館

4 日 山形ブロック協議会 「第 3 回会員会議所会議」 上山

9 日 第 6 回理事会 J C 会館

19 日 6 月例会 「心に咲かせよう OMOIYARI の花を」 いこいの村庄内

25 日 山形ブロック協議会 「第 4 回会員会議所会議」 河北

7 月

3 日 山形県少年親善相撲大会 酒田

7 日 第 7 回常任理事会 J C 会館

9 日 山形ブロック協議会 「第 5 回会員会議所会議」 南陽

10 日 7 月例会 「第 44 回ブロック会員大会」 南陽

14 日 第 7 回理事会 J C 会館

16~17 日 日本青年会議所 「サマーコンファレス 2011」 横浜

21 日 第 1 回臨時総会 出羽庄内国際村

21 日 7 月事業 「認承証伝達式」 出羽庄内国際村

31 日 「第 27 回 わんぱく相撲全国大会」 両国国技館

8 月

4 日 第 8 回常任理事会 出羽庄内国際村

10 日 8 月例会 「第 21 回赤川花火大会運営協力」 赤川河川敷

10~11 日 8 月例会 「希望の光プロジェクト」 鶴岡

12 日 第 8 回理事会 出羽庄内国際村

9 月

1 日 第 9 回常任理事会 JC 会館

3~4 日 東北地区協議会 「東北青年フォーラム in 花巻」 岩手

8 日 第 9 回理事会 JC 会館

15 日	第 91 回定時総会	出羽庄内国際村
15 日	9 月事業 組織進化ミーティング「ホンマでっか!?JC 公益法人 SP」	出羽庄内国際村
22 日	9 月例会 「この地域の宝を見直そう~蚕と歩んできた 歴史~」	グランド・エルサン
24 日	山形ブロック協議会 「第 6 回会員会議所会議」	西川町
29~10/2	日本青年会議所 「第 60 回全国大会 名古屋大会」	名古屋
30 日	日本青年会議所 「第 137 回通常総会」	名古屋

10 月

6 日	第 10 回常任理事会	JC 会館
13 日	第 10 回理事会	JC 会館
22 日	10 月例会 「楽しい子育てしてみませんか?~見つけ よう親の姿~」	東京第一ホテル
29 日	山形ブロック協議会 「第 7 回会員会議所会議・アカ デミー閉校式」	村山

11 月

1~5 日	JCI 世界会議	ベルギー
2 日	第 11 回常任理事会	JC 会館
10 日	第 11 回理事会	JC 会館
24 日	11 月例会 「合併後地域社会検証事業~「市民の暮ら し」はどう変化したか~」	出羽庄内国際村
26 日	山形ブロック協議会 「第 8 回会員会議所会議・卒業 式」	山形
30 日	第 12 回常任理事会	JC 会館

12 月

3 日	新入会員事業「クリスマス家族会」	マリカ市民ホール
8 日	第 12 回理事会	JC 会館
10 日	第 92 回定時総会	グランド・エルサン
10 日	12 月例会 「卒業式」	グランド・エルサン

1 月例会

「創立 45 周年記念式典並びに祝賀会」

1967 年創立から 45 年の活動に対する感謝の気持ちを伝え、これからも地域から必要とされる青年団体として再認識していただく共に、我々の活動に理解を深めて頂きさらなるご協力をいただくことを目的とし創立 45 周年記念式典並びに祝賀会が行われました。



2 月例会

「第一エリア 山形ブロック協議会会長 公式訪問の主管」

山形ブロック協議会会長公式訪問での直接の対話により、情報の捉え方が整理され、メンバーの一人ひとりが日本やブロックの方針を理解し（自分たちのモノにすることで）全ての方向性を統一し共通の指標にして今年度のJC活動につなげ、各事業の成功にもつながる。また主管 LOM として第一エリアのメンバー全員がブロックとの情報を共有できる貴重な時間を得る場になるよう行われました。



3月例会

「災害対策ネットワークの周知及び支援予定」

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震を受けて、災害対策ネットワークの周知徹底及び、13日現在で決まっている今後の支援予定内容説明、メンバーが把握している被災地の情報共有を目的とし行われた。



4 月例会

「「徳溢れる心醸成プロジェクト」家訓づくりプログラム」

自分自身にある「価値観」の確認、良心を見つめ直し、我々の使命感の源である徳溢れる心を身につけ、積極的な行動が必要であると考えられます。地域または社会全体の為に、積極的な行動を喚起する人となるべく、徳溢れる心を身につけ、新たな時代を担う子供であったり、社会や地域に受け継いでいけるよう「徳溢れる心醸成プロジェクト」家訓づくりプログラムが行われました。



5 月例会

「わんぱく相撲 鶴岡場所 ふれあい相撲 1・2・3 年生大会」

礼に始まり、礼に終わる国技である相撲を通じて、子供たちの健康増進に努めるのは勿論、本番でも、日頃の稽古の成果を発揮し、自分より大きい力士に挑むこともあるだろうが、そこで勝つ喜び、負けるくやしさを、更に、一歩進んで、勝ち負けに囚われない、勝者を称え、敗者への思いやりを学ぶという勇気ある心豊かな精神鍛錬の場を持つ事。1・2 年生に関しては、ふれあい相撲教室を行う事で、相撲の基礎を学んでもらい、相撲を通して心身の鍛錬とスポーツに触れ合える機会を持つために行われました。



6 月例会

「心に咲かせよう OMOIYARI の花を」

自分たちの住むこの地域の自然に直接
接触れ合い、青年会議所が提唱する
OMOIYARI の心をもって、ふるさとを
きれいに美しくし、この地域の自然の
良さを再認識してもらい、郷土への愛
着を高め他人を思いやる心を育むこ
と。またその精神を学んでもらい、広
く意識改革へと繋げることを目的とす
る。

我々鶴岡青年会議所が率先して地域の
方々と協働でこの事業を行うことで、
公益社団法人日本青年会議所が進めて
いる OMOIYARI 運動の伝播に繋げ、
そしてふるさとの恵まれた自然環境を
再認識すること。また地域コミュニテ
ィ再生への伝道者としての役割を認識
し、ともに郷土愛を深めることを目的
におこなわれました。



公益社団法人日本青年会議所 6月例会「心に咲かせよう OMOIYARIの花を」2011.6.19 いこいの村広野



7 月例会

「第 44 回山形ブロック会員大会南陽大会」

会員大会を通してメンバー一人ひとりが何事にも果敢に挑む精神の原動力である元気を得ることにより、今後の J C 運動や支援活動に向う糧とする。さらに、大会に参加し同じ時間を共有するなかで、県内 17 L O M の多くのメンバーとの情報交換や交流を図り、意識の向上とメンバー同士の結束を深め、また出向したことのないメンバーにもブロックや他 L O M との連携といった L O M 単体だけではない青年会議所運動について考える機会を与えてくれる場にする。



8 月例会

「第 21 回赤川花火大会」

この度の東日本大震災を受け宮城、岩手、福島をはじめとする多くの地域が被害を受けております。

これまで 20 回、市民の方々から支えられてきた赤川花火大会は今この時期だからこそ復興を目指した地域の活性化や被災された方々へ元気と勇気を届ける心の支援をすべく開催しました。



9 月例会

「この地域の宝を見直そう～蚕と歩んできた歴史～」

私たちの地域で、多様な自然と共に暮らし、その豊かな恵みを受けながら、先人達のたゆまぬ努力により、発展してきた多彩な歴史と文化。その文化や歴史は、時代の流れと共に、少しずつ形を変え、地域の発展に大きな役割を果たしてきただけでなく、現在も伝統を守りながら、新たな可能性を広げようと進んでいます。まさに次世代へと守り、伝えていくべき「地域の宝」であると考えます。この地域をより良くする為には、ここで生活をする1人ひとりが、自分たちが暮らすこの地域について興味を持ち、学んで知り、地域に誇りを持ちながら、次の世代へと語り継いでいくことが大切だと考え行いました。



10月例会

「楽しい子育てしてみませんか？～見つけよう親の姿～」

今現在の子育て世に今の時代に合わせた柔軟な考え方にふれてもらい、心の豊かさを取り戻すきっかけとなり、これからの子育てに役立ててもらおう事で、子供との絆が深まり、地域の宝である子供たちの豊かな未来に繋げるようおこないました。



1 1 月例会

「合併後地域社会検証事業 ～みんなで考えよう市の明るい未来～」

平成17年の合併から公の市民参加型合併検証は行っておらず、市民も非常に関心があると思われます。特に内容を具体的に「市民の暮らし」にスポットを当てることによって合併検証を身近な問題と捉え参加しやすくし、この事業によって、今後の「市民の暮らし」をよりよい方向に導ける議論の場を創造し、地域愛を持った市民が一人でも多く市制や町内会活動、学校活動などのまちづくり活動に積極的に参加することが、明るい豊かな鶴岡の未来を創っていくのだという意識を醸成するようおこないました。



12月例会

「卒業式」

12月グランド エル・サン ローズ
ルームで「卒業式」が執り行われまし
た。

それぞれ工夫された演出で行い、会
場は終始笑いに包まれていました。

いままでロムを支えてくれた多くの
先輩を送り出すことの出来た卒業式で
した



－2011 年度を振り返って－

特別顧問 恩田健次

未曾有の東日本大震災から数ヶ月がたち、私達の生活や仕事においても影響を受けているのではないのでしょうか。今年一年を振り返るに当たり、様々な思いがこみ上げてきます。2011年度は、LOMにとっても45周年という節目の年でもありました。工藤理事長始めベテランと初理事がうまく機能し、大震災で様々な事業が見直されましたが、すべての事業が地域発展に寄与できたのではないのでしょうか。さて、本年度は特別顧問として活動させて頂きました。例会、理事会においてもどのように係わっていけばよいのか四苦八苦するところもありましたが、すべては組織のため、地域のため、そして何よりもメンバーのスキルアップのためと思い活動させて頂きました。理事会においては、厳しい意見をさせて頂いた時もあったかと思いますが、私なりに考えて行ったことです。すべて思いをもって述べさせて頂きました。理事に対する評価はメンバー間で出来ますが、鶴岡JCの評価は内部では出来ません。この1年皆様の運動が地域の皆様にとってどのようなものだったか、我々はそこを考えなければならないのです。多くの卒業生がLOMを去ります。新たなLOMを作るのは現役のみです。一緒に頑張りましょう。

ヒューマンネットワーク室 室長 結城俊一

2011年度ヒューマンネットワーク室室長として地域未来育成委員会を担当させていただきました。この室では、「わんぱく相撲」「子育て支援」と主に子供にかかわる事業を展開してまいりました。地域の宝である子供の未来、また我々家庭では子を持つ親として、委員会メンバーそれぞれの立場で親と子のかかわりをあらためて考える事ができた一年だったと感じております。

地域未来育成委員会メンバー個性を持ったメンバーが揃っておりました、それぞれが個性を生かし、事業成功へと取り組む事ができた委員会でした。なによりも、皆が参加し、活動を楽しむ事ができた1年でした。今年度学んだ事は、今後の活動に生かして、継続的に伝播していくと信じております。

最後に、1年共に活動いただいた委員会メンバーに感謝申し上げ、またこの様なすばらしい事業を行えた担いを与えていただいた、工藤理事長、渡部専務へ改めて感謝いたします。1年間ありがとうございました。

日本一赤川花火委員会 室長 富樫晃司

今年の第21回赤川花火大会は3.11の震災後、1日1日刻々と状況が変化する中での大会運営の連続でした。3月の時点では「資材は確保できるのか。トイレは集められるのか。こんな状況で企業協賛はして頂けるのか。」等、不安要素は数え切れないほどありましたが、どうしたら花火大会を開催出来るかを委員会メンバー全員で考えながら一年間活動してきました。その中でも、石巻、南三陸町の子供たちと鶴岡に避難されている方々を招待させていただいた「希望の光プロジェクト」は、私の今までのJC活動を振り返っても一番記憶に残る事業のひとつとなりました。バスの到着が遅れオープニングの花火が揚がる直前に子供たちが特別観覧席に着きました。そのオープニング花火の光に照らされた時の子供たちの歓声、笑顔を見たときに本当にこの事業に携わらせていただいて良かったと心から思いました。被災地の方々に元気、勇気を送ろうと行った事業でしたが、参加していただいた子供たち、父兄の皆さんに私たちが元気をいただいたように感じます。このような貴重な機会を与えて頂いた工藤理事長、佐藤副理事長をはじめ委員会メンバーまた花火大会にご協力いただいた全ての方々にこの場をおかりして感謝申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。

45周年特別会議 副議長 筒井 重浩

2011年、先輩諸兄の強い信念によって受け継がれてきた鶴岡青年会議所は、45年の節目の年を迎えることができました。

その長い歴史に感謝しそして未来に引き継ぐ担いを頂いた1月の例会では、担当メンバーは言うまでもなく、たくさんの素晴らしい仲間から、たくさんのお力を頂き、そして盛会に執り行うことができましたこと、改めて、心から、6年間の想いととも、感謝御礼申し上げます。

6月例会は東日本大震災の影響により、工藤理事長の当初の構想とは違う形になりました。しかしながら、植栽を通じ、子供たちとともに、この地域をそして被災地を思いやる心を育む事業を行うことができたことは、とても嬉しいことでした。

ただ会議体の要である伊藤総括幹事が、予期せぬ病となりこの事業に関われなかったことは残念でなりません。卒業の年でもあり最後の担当例会でしたので、でき得るならばともにつくり上げていきたかった思いが今でも強く残っています。

とにもかくにも、45周年特別会議のメンバーの皆様、そしてLOMメンバーの皆様、1年間お世話になりました。ありがとうございました。

事務局 局長 三浦成希

2011 年度、『天性開花』のスローガンを合言葉に精一杯頑張ってまいりました。
ぎこちない部分を専務理事を始めとする事務局メンバーよりフォローして頂いたおかげで今日
があると感じております。
総会、理事会、常任理事会等の各種会議では、事務局が一丸となり進行をスムーズに運営する事
が出来たと感じます。意見や、議案が多くて予定時間を越えてご迷惑をおかけする場面もありま
したが、その後の懇親会でも沢山、参加して頂きました。
理事の方々が活発な意見を出しやすくなる様に心がけました。
又、京都会議、サマーコンファレンス、全国大会等の遠方へも沢山のメンバーから登録して頂きま
した。準備設営等でご迷惑をおかけしましたが何とか皆様のご協力のおかげで、出向メンバーを
応援し、無事帰還する事が出来ました。
本当にこの一年、皆様より沢山のご協力ご尽力を頂き職務を遂行することができました。
「ありがとうございました。」来年度、さらに進化してこのご恩を返せるように更なる努力を重
ねて行きたいと思います。

会員拡大アカデミー委員会 委員長 菅原 智広

2011 年度初理事と致しまして、会員拡大アカデミー委員長を拝命致しました。
初の委員長ということで全てにおきまして不安で、何をしたらよいのか分からない状態でのスタ
ートとなりました。
とりわけ、拡大担当と致しまして新入会員を本当に集められるのかという不安が常にあり、どの
ように入会を勧めて行ったら良いのか、入会して頂くにはどう説明すればよいのかを模索する 1
年であったように感じられます。
そんな活動の中、大震災が起こり拡大活動には不利な状況となってしまいました。
しかしながら 2011 年度の入会は無理でも来年に繋がるような拡大活動は委員会メンバーを含め
行ってきたつもりです。
目標人数に達する事はできませんでしたが、2011 年度に蒔いた種を次の年度に役立てて頂けれ
ば委員会としての役割を果たせたのではないかと、感じております。
頼りのない委員長でございましたが、親身になって支えてくれた皆様に感謝を申し上げます。
1 年間本当にありがとうございました。
また、この経験を生かし次年度の会議所活動に役立てて行ければ幸いです。

地域社会委員会 副委員長 中村 鉄也

卒業年度に地域社会委員会副委員長という大役を拝命し、齋藤委員長と共に「よし、やるぞ！」と意気込んでいたものの、3月に温海支店への転勤。そして担当例会であった3月例会の2日前に東日本大地震の発生。JC内外ともに想定外の出来事と波乱続きの2011年度でした。副委員長でありながらも仕事の都合上、JC活動に対して疎遠気味になってしまい、特に渡辺副理事長、井上室長、齋藤委員長、そして委員会メンバーには大変申し訳ない気持ちで一杯です。しかし、3月例会の講師予定であった㈱モンベル辰野会長の講演会視察へ、渡辺副理事長、齋藤委員長と一緒に福島県へ行ったことは、副委員長としての良き思い出です。私は今年度で卒業となりますが、今回の経験や学んだことを今後職場に限らず多方面に活かしていきたいと思います。1年間、本当にありがとうございました。

日本一赤川花火委員会 副委員長 吉宮 哲史

第21回赤川花火大会を終えて、ほっと胸をなで下ろした瞬間は、「希望の光プロジェクト」で来てくれた被災地の方々の数多くの御礼の手紙やメール、写真の子供たちの笑顔、そして市民の方々からの「頑張ったね！良かったよ！」のお言葉でした。

東日本大震災により、委員会メンバーみんなで意見を出し合い何回も話し合いを重ねた記憶が思い浮かびます。大会を中止にした方が良いのでは？という意見も出ました。その中で中止にする事が本当に手助けになるのか？このような時だからこそ、青年の力を合わせて我々だからこそ、出来る大会をするべきではないか！と大会テーマを変更し「子供たちに勇気を与えたい、子供たちに笑顔を取り戻してもらいたい、復興の力になりたい」そして、地元地域にも元気になってもらい「心の支援」と「めざせ！感動日本一」を忘れずに精一杯できる最高の21回大会にしようと思ふみんなの気持ちが一つになり、当日は大きな事故もなく盛大に開催する事ができました。作業を進める中で、いつしか支援をしようとしていた私達の方が勇気、元気を頂き、そして行動へと導いて頂いたと気付きました。

けして我々の力だけではなく、関係各社、ボランティア団体、市民の皆さんのご協力とご支援があつてこそ、成し得られるもので、今年は特に一つひとつの小さい力でもみんなが力を合わせる事で何倍もの力を作り出し、新しい挑戦に進む事ができ、人と人との絆や思いやりの気持ちが溢れた事業内容だったと思います。

1年間本当にご協力ありがとうございました。

45 周年特別会議 総括幹事 伊藤義徳

2011年度（社）鶴岡青年会議所が45周年という記念すべき年に、周年事業を行う会議体の総括幹事という大役を仰せつかりました。入会し3年目の初めての理事ということで何もわからず、大変光栄であると同時にとても大きな不安がありました。

私たちの担当は1月の45周年記念式典と6月例会が担当でした。

1月に関しては、私の全てにおいて不慣れなこともあり委員会の運営から準備など上手く出来ませんでしたが、皆様のご協力のおかげで何とか成功に終わることが出来ました。

しかしその後3月の下旬に体調を崩し半年以上JC活動自体が出来ない時期がありもどかしい気持ちでした。そのため6月例会全てにおいてなにも手伝えず、会議体メンバーをはじめ多くの皆様に大変なご迷惑をかけてしまいました。

JC活動は普段の仕事では経験できないことを出来るのが良いことであり自らの成長になるものと思います。この1年は大変勉強になりました。とてもよい経験をさせていただいたことに大変感謝しております。ありがとうございました。

LOM 組織強化諮問特別会議 総括幹事 小林範正

先ずは1年間当会議体へご協力頂き感謝申し上げます。各理事の皆様に置かれましては、議案に関し事務局提出前にコンプライアンスの確認等今まではなかった議案の上程方法や年度途中からの会計科目の変更等、時間的にも新フォーマットへの対応など非常に厳しい年となったのではないかと思います。しかしどこかのタイミングで変わらなければいけないのであればそういった年に苦労することは必ず自分の糧になるものと思います。

また、本年、会議体の担いとしてコンプライアンスの確認のほか公益法人格取得という重大な使命がありましたが、こちらに関しては仮申請までしか到達できずご協力いただいた皆様に大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、本申請へ向けて担当は変わっても引き続き理解と協力をしてまいります。

総務情報発信委員会 委員長 太谷英俊

この1年間、総務情報発信委員会委員長を務めさせていただきました。ホームページによる情報発信ですが、我々鶴岡青年会議所の運動などをより多くの地域の皆様に認知していただく為に、見やすく解りやすいホームページの作成・運営に努めたつもりです。広報紙の方も年2回の発行を行いました。こちらは、LOM メンバーと OB・OG 会員のみの発送とさせていただきましたが、ホームページでは伝えきれない思いを周知していただける様に委員会メンバー皆で作成・編集を致しました。総務情報発信委員会テーマである「地域と JC、メンバーを繋ぎあわせるかけ橋となろう。」に委員会皆で、頑張りました。ホームページや広報紙の作成は、今まで携わった事がなく、委員会メンバー皆様にはご迷惑をおかけした所が多々ありました。この1年間、秋山副委員長始め委員会メンバーの皆様、ご尽力をいただき誠に有難うございました。

総務情報発信委員会 副委員長 秋山滋

2011 年は、我が総務情報発信委員会で OMOIYARI 事業を担当しましたが、準備のさなかに震災が起こり、残念ながら事業は中止となりました。しかし議案作りから委員長を支え、打ち合わせの中でたくさんの人に親切にして頂いたのは、とてもいい学びになりました。

また、どうしても JC 活動を休止せざるを得なかったメンバーが、委員会内の半分を占めており、残ったメンバーへの負担が大きかったようにも思います。それでも委員会全体で頑張れたのは、委員長が LOM への「奉仕」を体現していたからだと思います。

この一年間、多くの気付きを与えてくれた総務情報発信委員会に、心から感謝します。

一出向報告

公益社団法人日本青年会議所 次世代社会創造グループ

ヒューマンセキュリティ確立会議 副議長 恩田健次

チャンスをどのように生かすか……。出向する時間やお金をどのように捻出していくか……。

今年度、公益社団法人日本青年会議所本会へ2回目の副議長として出向させて頂きました。まずは、このような機会を与えて下さった理事長始めメンバーの皆様に感謝申し上げます。自分のやらなければいけない使命とは何なのか？2008年に理事長を終えた時、そのようなことを考えておりました。2009年に縁あって日本JC本会の副議長として出向させて頂きました。そこで衝撃的な出会いを致しました。当時会頭であった安里繁信先輩。会頭から直接教わった事、常に気にして頂いたこと、全てが今後の歩むべき道の礎になりました。昨年、安里会頭をLOMの例会にお呼びした際にも、「怠けるな」「俺に任せろ」と副議長のセッティングをその場でして頂きました。全ては縁あってのこと、必然的なことです。しかし、鶴岡から日本JCに出向するには他LOM以上に時間とお金がかかります。投資した分、何をどう生かすのか……。機会があれば自らの足で確かめてみて下さい。決して損はありません。副議長輩出に際し、小幹事をお引き受け頂きました、富樫勝好君を始め、委員として出向して頂いた筒井君、小池君、今間君に感謝申し上げます。最後に、理事長終了後、出向に対して親身に悩んで頂いたのが佐藤正廣直前理事長です。私は、いつかこの出向がしっかりとした形で皆様に還元できるよう足元を固めて自分の目標に向け来年からさらに精進して参ります。鶴岡JCは日本JCの中でも大変素晴らしいLOMであり、素晴らしい事業展開をしています。胸を張って少しでも背伸びして、来年以降も頑張って参ります。皆様に感謝致します。

公益社団法人日本青年会議所 次世代社会創造グループ

ヒューマンセキュリティ確立会議 委員 小池昌和

今年ラストイヤーなので、思い出づくりと称して恩田副議長に付いての最初で最後の日本JC出向。京都会議から始まり横浜サマコン、名古屋全国大会と、3大会参加。他に北は北海道札幌、南は九州博多の議会活動。40年間で乗った飛行機の回数を今年一年で上回ったのでは？と思う位、全国を飛び回りました。京都会議での議会初顔合わせでは、さすが日本JC出向者、全国より芸達者なメンバーが集結しており夜はトコトン大宴会。(ほとんど理事長経験者やラストイヤーでLOMの不良債権)その後の議会活動は主にグローバルコンパクトの署名活動がメインでした。札幌での会員会議所会議での署名活動では30名分集まり、鶴岡JCでも30名分集まった時には、同じ30名分での費用対効果を考えるとガックリした事を覚えています。その度に、懇親会×2、お土産、×××、諭吉君が面白いように家出していきました。しかし、良くも悪くもJCという括りの中で、日本中には色々な青年が居るという勉強になり良い刺激を受けましたし、また日本中に友達が出来た事は喜ばしい事のように思えます。

まずもってJ Cラストイヤーにも関わらず、日本J Cに出向させて頂きましたこと、L OMの皆様には感謝御礼申し上げます。

さて2011年、この会議体へは当L OMからは副議長として恩田健次特別顧問、そして小幹事として冨樫勝好くんを輩出。わたしはフォロアーメンバーとして今間議長そして小池昌和くんとともに初めての日本J C出向となりました。

年度当初は、10月に行われた全国会員大会I N名古屋のフォーラムをメインで受け持つ予定でしたが、急遽「国連グローバルコンパクト」への加盟推進運動を主な活動とすることになりました。この「国連グローバルコンパクト」は、2011年J C I 3大公約の1つでもあり、企業が守るべき10の原則を推し進め、もって世界的な人権の擁護や差別の撤廃などを目指すまさにグローバルな運動です。北は当鶴岡青年会議所、南は大分B L・別府青年会議所までの総勢30名のメンバーで、1年間全国各地を飛び回り、加盟推進運動を行って参りました。

最後になりますが、恩田顧問はじめ今間議長、小池くんそして冨樫くん、卒業の年に楽しい思い出を頂き、ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 「地域の誇り」復活推進グループ
L OMサービス実践委員会 委員 佐藤智信

2度目の日本会議所への出向となりますが、本年度は卒業年度の出向という事もあり、あまり緊張もせずに参加させて頂きました。

当委員会は主な事業として日本J C公認プログラムトレーナーの養成、いわゆるトレトレそれから日本J C公認プログラム（ロバート議事法・J Cゲーム・V F・マインドマッピング・等）J Cマンとして理解するとより充実したJ C経験を積めるようなプログラムを各L OMで行う際のお手伝いをするという内容があります。

また、L OMからの依頼による日本J C委員会プログラムの相談・支援・受付窓口としての機能も果たすといった事を行ってきました。

本年は皆様ご承知の通り3月11日の東日本大震災があり年度途中で事業計画が大きく崩れたため、計画通りには進めることが出来ませんでした。ブロック・L OM支援として全県にて理事長座談会を開催することが出来ました。

鶴岡青年会議所の皆様より承認を頂きましたことで、この様な貴重な経験をさせていただきました事を心よりお礼申し上げますと共に、なにかしらL OMに恩返しできれば幸いです。ありがとうございました。

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
協働運動推進委員会 委員長 結城俊一

本年度、皆様よりご承認いただき「公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会協働運動推進委員会 委員長」として出向させていただき誠にありがとうございました。

協働運動推進委員会の職務分掌を経た事業としては、4月開催予定でした当委員会メインの事業「2011ふるさとOMOIYARI」そして、2年目となるJCI「Nothing But Nets」キャンペーンマラリア撲滅運動また、他団体との連携強化を目的とした他団体との協働事業「2011やまがた公益プロジェクト」の実施とありました。しかしながら、3月11日に発生した東日本大震災は我々の青年会議所運動全ての予定を白紙にもどして全力を尽くした災害支援への方向転換となりました。その一つとして、当委員会主幹となり5月15日には南三陸へと17会員会議所の皆様からのご協力の中3箇所にて炊き出しをさせていただく事ができました。当LOMからも工藤理事長をはじめ多数の方からご協力いただきたいへん感謝しております。

そして、先ほどあげさせていただいた当委員会の事業ですが、「2011ふるさとOMOIYARIプロジェクト」時世を考慮して残念ながら中止とさせていただきました。予定者段階の10月から様々な方からアドバイスいただき何とかご審議いただいた事業ではありました。郷土「やまがた」への皆様の熱い思いを感じさせていただきました。次に、マラリア撲滅運動こちらも日本青年会議所からのLOM重点依頼運動でしたが、こちらも時世を考慮した動きになり東北方面へのこの運動は保留になっておりました。キャンペーン終了間際の動きになりましたが、各LOM内部でのみの運動になってしまいましたがご協力いただき少しでも多くの蚊帳を送る事に貢献できたと考えます。「2011やまがた公益プロジェクト」については、講演会のみの開催にとどまりましたが、青年会議所と他団体との協働に関して考える端緒となりました。我々青年が地域のリーダーとして地域の問題解決へ向け各団体を繋ぎ合わせる架け橋となる重要な役割と可能性を再度感じた次第であります。

山形ブロック協議会としての17会員会議所の各地域でのよりよい青年会議所運動への支援、また、2011年度協働運動推進委員会委員長として山形ブロック協議会の思いを発信できたのか。確かに、東日本大震災による、時世を考慮した動きにはなりました。誰しもが、災害により気持ちが違う方向に向いてしまったのは確かであります。その様な中でも委員長として本来の運動への導きがどれだけできたのか、委員長として皆様へ何ができたのか、自問自答しております。とはいいいながらも一年という任期という中で県内の様々な方々との出会い、ご協力、ご指導へ感謝申し上げ、以降への活動に繋げて行きたいと考えております。一年間ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
協働運動推進委員会 幹事 菅原 憲幸

私自身、初めてとなる出向であり、且つ委員会幹事という重要な役職を担う立場として、LOMメンバー以外の同志の皆様と共に青年会議所運動を行うことに、年頭の段階では、不安と緊張で一杯でした。しかしながら、一年を振り返ってみれば、大変貴重な体験ができたと共に、Jayceeとして数多くの事柄を勉強させて頂きました。出向するにあたり、ご承認頂いた鶴岡メンバーの皆様、後押しして頂いた理事長、委員長をはじめ共に活動した委員会メンバーの皆様に、衷心より感謝申し上げます。

当委員会では、メイン事業として、県内 17 青年会議所が結束し一斉に協働運動を実施することで、県民の皆様をはじめ各種協力団体に対し、我々の活動への周知を図ると共に、郷土「やまがた」への愛情を再認識することを目的に、「ふるさと OMOIYARI プロジェクト 2011」を企画しておりましたが、3 月 11 日に発生した東日本大震災による甚大な被害状況を鑑み、山形ブロック協議会としては、4 月に予定していたこの事業を中止するという判断に至りました。しかしながら、委員会メンバー相互の青年会議所運動に対する意識が揺らぐことはありませんでした。被災地への炊き出しや支援物資の仕分け作業等、活動内容は多少違うかもしれませんが、復興へ向けての崇高なる想いを胸に邁進してきたことは、明るい豊かな社会づくりを目指す青年会議所メンバーとして多くの経験を積む形となったと自負しております。

結びに、この出向を通して学び得たものが、LOM メンバーへの落とし込みを図ると同時に、今後の青年会議所運動に反映できるものとなるよう、精一杯努めて参ります。一年間、本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
協働運動推進委員会 委員 松田 稔

「協働運動推進委員会」に委員として出向しました。過去 3 回 6 月の環境月間に合わせての活動でしたが、今年は 4 月開催を目指しました。本当なら桜プロジェクトと題しましての活動になるはずでした。協働運動推進委員会の PR として 17LOM をまわり理事会に出席し 5 分間の PR をして参りました。各 LOM の理事長さんには確約を頂き順調にみえました。

あの日が来るまでは…。

街を歩いてて協働運動推進委員会ですけどって話すと「ああ～ぼしかった委員会ね。大変だったね。」って答が返ってきます。委員会ではマラリア撲滅運動も推進しておりましたが時代のニーズにあわない。今は復興支援に力を入れるという理由で 9 月に終了しました。この委員会ですんだ事は、「絶対開催！は無い！」という恐ろしい事実でした。これが協働運動推進委員会の出向報告です。

ー卒業にあたってー

伊藤 義則

皆様には大変お世話になりました。JC 活動は3年間という短い期間でしたが普段の仕事では経験できない多くのことを学ばせて頂きました。

私が所属している「郵便局長会」では地域社会の発展に寄与する、という目的があります。JC にも同じ目的があり仕事以外の部分で勉強になると思い入会しました。

新しい出会い、初めての経験等、入会してホントに良かったなあという気持ちでいっぱいです。ただ、ラストイヤーに体調を崩し半年以上活動が出来なかったことは残念でしたが、貴重な経験が出来、充実した有意義な期間でした。ありがとうございました。

(社) 鶴岡青年会議所とメンバーの皆様が今後ますます発展されることをお祈りいたします。

小池 昌和

40歳のラストイヤーは平凡に卒業する予定でした。しかし神様はそう簡単に私を卒業させてくれないようでした。3.11の震災後、赤川花火大会をどの様に行うか？佐藤副理事長より「希望の光プロジェクト」のリーダーのお声掛けに武者震い。

オレの青年会議所14年間の集大成。「卒業にあたり悔いの残らないように」と、企画・準備にかなりの時間を費やし、事業に取り組みました。

4月にプロジェクトが立ち上がったからは、石巻・南三陸町に何度も何度も足を運び、本当に沢山の奇跡的な出会い・協力・タイミングにより企画され、最後は沢山の協力者の熱い想いで無事大きな事故・トラブルも無く終わられました。

この事業とJCの14年間で学んだ事を簡単に・・・

- ・リーダーの熱い想いが周囲の人を動かします（夢を語れば仲間が集まるし、実現もする）
- ・やった奴には敵わない。（大変だけど大変な程、得る物はデカイ。自分が成長する）
- ・自ら素早く動く行動力。（チャンスは待つてはくれないし、気付いた時がチャンス）
- ・出向は面白い。（鶴岡レベルでない青年との出会いが沢山あります。一生の友が出来る）

他にも色々ありますが、私にとってJCの年会費は安いと思うくらい、価値のある勉強をさせて頂きました。今は、仲間が居なくなるようで卒業が寂しいです。

最後に、今回の事業を終えて直ぐに、招待した子ども達や保護者の方より沢山のお礼の手紙が届きました。文面を読めば、子ども達に喜んで貰えた、被災地支援・復興のお役に立てたのだなと実感できるものでした。私の一生の宝物です。何度読んでも涙腺が緩みます。歳なのですかね？

齋藤 佳代

2011 年日本の歴史に残る大きな出来事があったこの年に、青年会議所のメンバーとして皆様と共にいろいろな活動が出来たこと、皆さんと出会い絆を結べたこと、私の人生において大きな宝となりました。J C 生活で学んだ事を生かし今後の社会生活や私自身の人生に生かしていきたいです。皆さんありがとうございました。そして、これからも仲良くしてくださいね。

佐藤 智信

2002 年より社団法人鶴岡青年会議所のメンバーとして活動してきましたが、とても充実した10年間を過ごさせて戴きました。2009 年には理事長という大役も勤めさせて戴きましたし普通では経験することも出来ない全国屈指の花火大会である赤川花火大会の大会会長も勤めさせて戴きました。これまで携わってきましたメンバー諸兄には心より御礼申し上げます。

その様な貴重な10年でしたが、振り返ると自分が成長することが出来たと感じるのやはり委員長という職を全うした時かと思います。理事会では叩かれ、委員会メンバーには苦勞をかけ、苦しい準備期間すごしながら例会などの事業を行いました。反省点は多々生れるもののそれ以上の達成感と充実感、そして委員会メンバーとの絆に深く感謝しました。

また、理事長をさせて戴いた時もやはり多くの学びを戴きました。自分は特に会社が小さく多くの人間を動かすという事がありませんでしたので不慣れな点が多々あり、混迷させてしまった事もあったかと思いますが、しかしながら専務をはじめとする事務局からは至らぬ点を補って戴き、副理事長をはじめとする理事メンバーからは楽しく意義のある事業を組み立てて戴き、フォロワーメンバーからは LOM 全体を盛り上げて戴きました。改めて感謝申し上げます。

自分がこの10年間で学んだことは全て、会社や地域コミュニティの場で活かされると確信しておりますし、そうする事が J C への恩返しだと考えております。 現役の皆様からは、ぜひ試練をチャンスととらえ、苦しい思いを楽しい経験にして戴ければと思います。ありがとうございました。

中村 鉄也

2008 年度に入会し、あっという間に卒業を迎えました。入会時は何も分からず1年が過ぎ、2年目は出来る限り各事業・例会に参加することで J C とは何なのかを学んでいきました。3年目は「とにかく例会には出席し、更に多くを学んでいこう。」と自らの時間を作り、自分のやれることは出来る限りやってみようと活動へ参加しました。卒業年度の4年目は、サラリーマンの悲しい性により、藤島支店から温海支店へ転勤。締めくくりの年であり、副委員長の立場でありながらも、仕事の都合上、J C 活動に疎遠気味になってしまい、非常に無念の1年間でした。しかし、この4年間でたくさんのメンバーと親しくさせていただきました。この4年間の J C ライフは私の大切な宝であります。 業種という垣根を越えたメンバーとの J C 活動、とても良い思い出になりました。メンバーの皆さん、4年間、本当にありがとうございました。

渡邊 三千雄

平成8年（八平会）にJCに入会し、長くも短くもあり、やっと「卒業」と思う反面、少し寂しく、嬉しくもあり複雑な思いでいっぱいです。入会したときは、40歳になり卒業する自分を想像することができなく、活動していましたが、今振り返ると二度とない、貴重な日々であり、かけがえのない時間だったと思います。JCそして諸先輩をはじめ、多くのメンバーに支えられて今日まで活動できたと思います。この15年間は、私の人生において、楽しい事、面白かった事、笑った事、辛いこと、悲しいこと、感動した事など色々ありましたが、今となっては素晴らしい思い出であり、私の財産です。ただ言えることは、JCを通じて、会うことのない人と出会い、会話をし、事業を通じて共に汗を流し、協力し合い、助け合いながら、喜びを分かち合える友達、仲間こそが私のJCです。

最後になりますが、JCそして出会ったすべての方々、会社、社員、家族に感謝し卒業させていただきます。15年間本当にありがとうございました。

松田 美佳

在籍3年というあっという間のディープな日々でした。
みなさま、大変お世話になりました。仲良くしてくれて本当にありがとうございました。各種事業でのMCにはじまり、本来であれば私のキャリアではあり得ない山形BLアカデミー委員会副委員長という大役までさせていただいた挙句、「みんながだーいーすーきっ、はなぶー♪」と、赤川はなぶうまで歌わせて頂きました。
楽しかったなー。本当に楽しかったなー。
まだ卒業したくないなー・・・が本音ですが、更に芸に、~~いや~~腕に磨きをかけ次のステージでも頑張ります。鶴岡JCのますますのご発展とご活躍を心からお祈りしております。

私が(社)鶴岡青年会議所に入ったのは、平成 20 年。当時通っていたエステサロンの方から誘われたのがきっかけでした。公務員とはいえ、年々働く場がなくなっていく現業職員の私は将来に不安を感じていて、他の仕事をするという選択肢も考え始めていました。そして、自分の周りにいる知り合いや友人が、同じ職種や関係者ばかりが多いことに気付き「私の世界はせまいんだな～」と、思い始めました。そんな時に誘われたのが青年会議所です。地域の色々な企業や職種の人達と出会えると言われ、なんだかよく分からないまま入会しました。

本当に申し訳ないのですが、青年会議所の存在をそれまで知らなかった私。長年観ていた赤川花火の運営に携わっている事、わんぱく相撲など、地域のために色々な事業をしている事もまったく知りませんでした。

実際活動してみると、仕事と JC 活動の両立は大変なことですし、家族の理解なくしては続けられないことだと思います。「いつ寝てるの？」と、思う人もいました。

JC 活動がきっかけで今の主人と出会い、卒業間近に結婚し、出産しました。卒業の年にまったく活動できなかったことはとても残念でしたが、同じ地域や県に住んでいても出会うことがなかっただろう人達と活動を通して出会えたことは、生涯の宝になると思います。大変なこともありましたが、本当に楽しかったです。

ありがとうございました。私のこと忘れないでね！

2011年度 社団法人鶴岡青年会議所 公式日程(案)

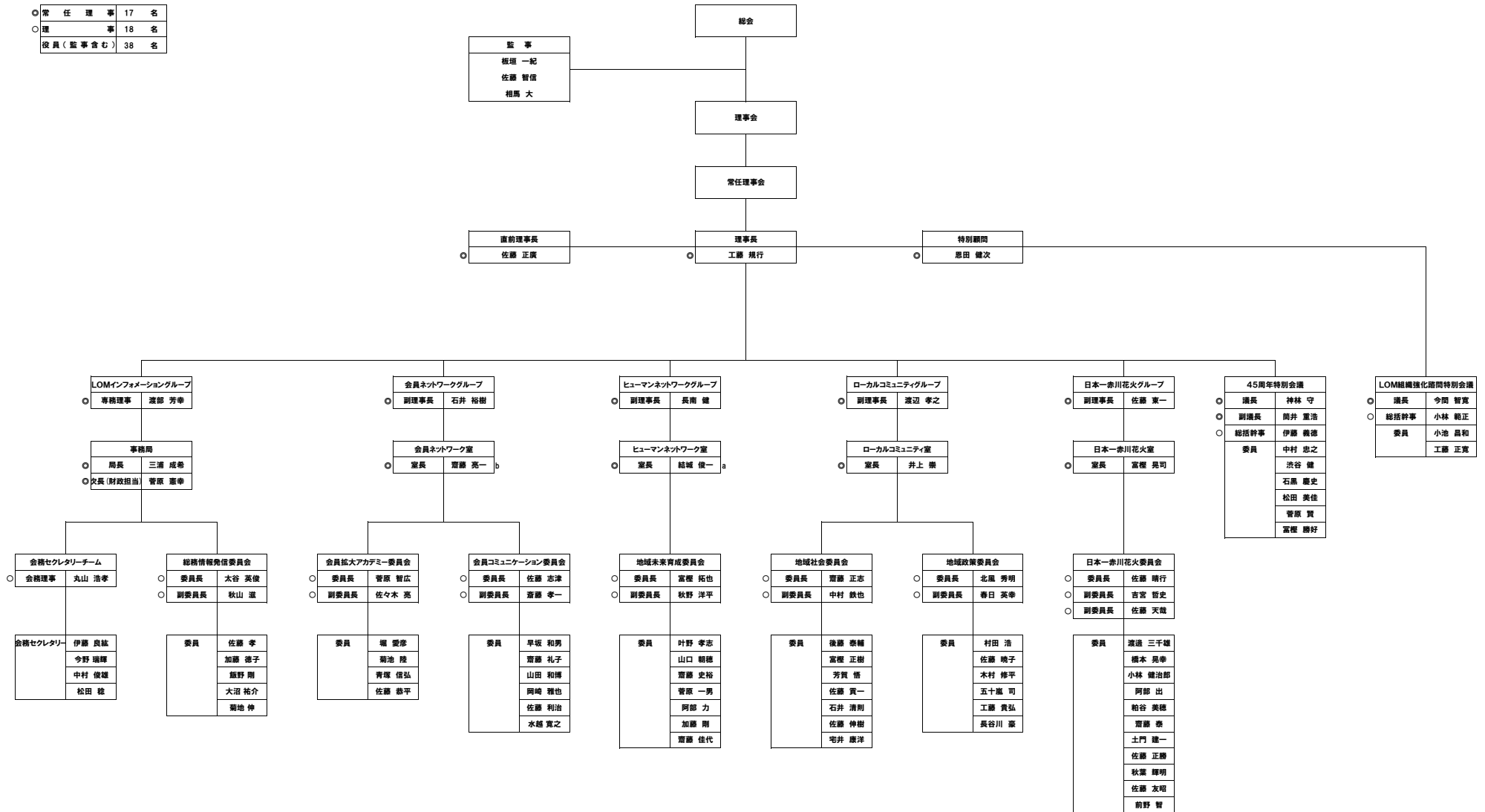
2010年11月27日現在

		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月				
鶴岡青年会議所	総会		15日(土)																15日(木)						10日(土)			
	例会	15日(土)		未定		13日(日)		24日(日)		未定		19日(日)		10日(日)		10日(水)		22日(木)		23日(日)		24日(木)		10日(土)				
		設立45周年及び新春祝賀会		ブロック会長公式訪問		地域社会活性化事業		新入会員歓迎会		OMOIYARIプロジェクト		わんぱく相撲地区大会		LOM版OMOIYARI事業		ブロック会員大会(南陽)		第二十一回赤川花火大会		地域の歴史再発見事業		子育て支援事業		合併後地域社会検証事業		卒業式		
	(担当委員会)		45周年特別会議		会員コミュニケーション		地域社会		会員拡大アカデミー		総務情報発信		地域未来育成		45周年特別会議		会員コミュニケーション		日本一赤川花火		地域社会		地域未来育成		地域政策		会員コミュニケーション	
	常任理事会	6日(木)		3日(木)		3日(木)		7日(木)		4月28日(木)		2日(木)		7日(木)		4日(木)		1日(木)		6日(木)		2日(水)		1日(木)				
	理事会		13日(木)		10日(木)		10日(木)		14日(木)		12日(木)		9日(木)		14日(木)		12日(金)		8日(木)		13日(木)		10日(木)		8日(木)			
	LOM・その他事業	未定														21日(木)		31日(日)		10～11日		15日(木)				3日(土)		
		ローカルマニフェスト検証事業														認認証伝達式		わんぱく相撲全国大会		赤川河川敷衛生義業		進化組織ミーティング				新入会員事業		
(担当委員会)		地域政策														会員拡大アカデミー		地域未来育成		日本一赤川花火		LOM組織強化諮問会議				新入会員		
山形ブロック協議会	正副会長会議	29日(土)		山形		26日(土)		米沢		酒田		23日(土)		4日(土)		25日(土)		9日(土)		24日(土)		29日(土)		26日(土)		山形		
	役員会議																											
	会員会議所会議																											
	会議・行事	21日(金)	29日(土)	日()		24日(日)				10日(日)				25日(土)														
		京都会議 ブロックナイト	新春総会	エリア公式訪問		日本JC会頭公式訪問		17LOM協働運動				ブロック会員大会				ブロック卒業式												
	(開催地)	京都	山形							南陽				山形														
周年事業	15日(土)鶴岡45周年				東根JC35周年		22日(日)米沢JC50周年		26日(日)河北JC35周年		11日(土)村山JC35周年		30日(土)上山JC35周年															
東北地区協議会	会員会議所	22日(土)																						2日(金)				
	(開催地)	京都																						二本松				
	会議・行事	7日(金)	14日(金)	22日(土)	4日(金)	11日(金)	12日(土)～13日(日)	25日(金)	11日(金)	25日(金)	8日(金)	22日(金)	11日(水)	20日(金)	10日(金)	24日(金)	8日(金)	10日(水)	2日(金)	3日(土)～4日(日)	3日(土)	23日(金)	7日(金)	28日(金)	11日(金)	25日(金)	1日(木)	
		正副会議	役員会議	会員会議所会議	正副会議	役員会議	ゼミナール開校式	正副会議	役員会議	正副会議	役員会議	正副会議	役員会議	正副会議	役員会議	正副会議			役員会議	東北青年フォーラム	ゼミナール閉校式	正副会議	役員会議	正副会議	役員会議	正副会議	役員会議	
(開催地)	二本松	二本松	京都	仙台	仙台	仙台	盛岡	花巻	仙台	水沢	寒河江	塩釜	江刺	鹿角	村山	八戸	湯沢	花巻	花巻	花巻	浪江	会津若松	酒田	山形	五所川原	二本松		
日本青年会議所	開催日	20日(木)～23日(日)				20日(日)								16日(土)～17日(日)				3日(土)		30日(金)		9/29日(木)～10/2日(日)						
	行事	京都会議 《22日(土)総会》				総会								サマーコンファレンス				日本JC60周年記念式典		総会		全国会員大会						
	開催地	京都				東京								横浜						名古屋		名古屋						
国際青年会議所	開催日											26日(木)～29日(日)										10月31日(月)～11月5日(土)						
	行事											AREA B会議(アスパック)										JCI世界会議						
	開催地											フィリピン(マニラ)										ベルギー(ブリュッセル)						

2011年度 社団法人鶴岡青年会議所 組織図

国	際	青	年	会	議	所																			
公	益	社	団	法	人	日	本	青	年	会	議	所													
公	益	社	団	法	人	日	本	青	年	会	議	所	東	北	地	区	協	議	会						
公	益	社	団	法	人	日	本	青	年	会	議	所	東	北	地	区	山	形	ブ	ロ	ッ	ク	協	議	会

○常任理事	17名
○理事	18名
役員(監事含む)	38名



社団法人鶴岡青年会議所
収支計算書

2011年1月1日から2011年12月31日

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①入会金収入	195,000	195,000	0	
入会金収入	195,000	195,000	0	
②会費収入	11,804,700	11,741,900	62,800	
正会員会費収入	10,340,000	10,340,000	0	
新入会員会費収入	1,064,700	991,900	72,800	
特別会員会費収入	80,000	80,000	0	
賛助会員会費収入	320,000	330,000	△ 10,000	
③事業収入	917,966	912,966	5,000	
登録料収入	917,966	912,966	5,000	
販売収入	0	0	0	
④補助金等収入	2,030,000	3,272,500	△ 1,242,500	
地方公共団体団体補助金収入	2,030,000	2,030,000	0	
民間補助金収入	0	1,242,500	△ 1,242,500	
⑤負担金収入	0	10,400	△ 10,400	
負担金収入	0	10,400	△ 10,400	
⑥寄付金収入	2,066,424	1,996,291	70,133	
寄付金収入	1,248,000	1,248,000	0	
募金収入	818,424	748,291	70,133	
⑦雑収入	1,362,500	147,359	1,215,141	
受取利息収入	10,000	1,928	8,072	
その他雑収入	1,352,500	145,431	1,207,069	
⑧前受金収入	0	20,000	△ 20,000	
⑨期末未収入金	0	△ 1,600	1,600	
事業活動収入計	18,376,590	18,294,816	81,774	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	13,387,725	13,240,054	147,671	
給料手当支出	735,000	610,080	124,920	
臨時雇賃金支出	7,000	7,000	0	
退職給付費用支出	0	0	0	
福利厚生費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	1,920,800	1,820,800	100,000	
通信運搬費支出	150,400	150,720	△ 320	
消耗什器備品支出	0	0	0	
消耗品支出	5,467	9,307	△ 3,840	
修繕費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	511,497	511,297	200	
燃料費支出	0	27,827	△ 27,827	
光熱水料費支出	0	0	0	
賃借料支出	498,000	535,550	△ 37,550	
保険料支出	215,170	215,220	△ 50	
諸謝金支出	1,137,444	1,137,444	0	
租税公課支出	0	0	0	
負担金支出	951,175	955,025	△ 3,850	
助成金支出	0	0	0	
寄付金支出	400,000	420,000	△ 20,000	
委託費支出	1,137,118	1,137,118	0	
仮払金支出	0	3,690	△ 3,690	
雑支出	5,718,654	5,698,976	19,678	
②管理費支出	5,322,040	5,051,379	270,661	
役員報酬支出	0	0	0	
給料手当支出	315,000	261,463	53,537	
退職給付費用支出	0	0	0	
福利厚生費支出	0	0	0	
会議費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	31,190	28,350	2,840	
通信運搬費支出	320,000	356,190	△ 36,190	
消耗什器備品支出	0	0	0	
消耗品支出	600,000	634,899	△ 34,899	
修繕費支出	100,000	0	100,000	
印刷製本費支出	916,420	957,895	△ 41,475	
燃料費支出	0	0	0	
光熱水料費支出	680,000	648,982	31,018	
賃借料支出	250,000	163,747	86,253	
保険料支出	43,430	43,430	0	
諸謝金支出	0	0	0	
租税公課支出	1,500	1,500	0	
負担金支出	1,074,500	1,058,350	16,150	
助成金支出	0	0	0	
寄付金支出	0	0	0	
委託費支出	300,000	285,750	14,250	
雑支出	690,000	610,823	79,177	
事業活動支出計	18,709,765	18,291,433	418,332	
事業活動収支差額	△ 333,175	3,383	△ 336,558	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
①定期預金預入支出	130,667	130,667	0	
投資活動支出計	130,667	130,667	0	
投資活動収支差額	△ 130,667	△ 130,667	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	-	0	
当期収支差額	△ 463,842	△ 127,284	△ 336,558	
前期繰越収支差額	2,159,737	2,159,737	0	
次期繰越収支差額	1,695,895	2,032,453	△ 336,558	

社団法人鶴岡青年会議所
正味財産増減計算書

2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取入会金	195,000	345,000	△ 150,000
受取入会金	195,000	345,000	△ 150,000
②受取会費	11,741,900	12,057,300	△ 315,400
正会員受取会費	10,340,000	9,790,000	550,000
新入会員受取会費	991,900	1,847,300	△ 855,400
特別会員受取会費	80,000	90,000	△ 10,000
賛助会員受取会費	330,000	330,000	0
③事業収益	912,966	833,049	79,917
登録料収益	912,966	375,800	537,166
販売収益	0	457,249	△ 457,249
④受取補助金等	3,272,500	7,150,650	△ 3,878,150
受取地方公共団体補助金	2,030,000	0	2,030,000
受取民間補助金	1,242,500	7,150,650	△ 5,908,150
⑤受取負担金	10,400	0	10,400
受取負担金	10,400	0	10,400
⑥受取寄付金	1,996,291	0	1,996,291
受取寄付金	1,248,000	0	1,248,000
募金収益	748,291	0	748,291
⑦雑収益	147,359	132,127	15,232
受取利息	1,928	3,493	△ 1,565
その他雑収益	145,431	128,634	16,797
経常収益計	18,276,416	20,518,126	△ 2,241,710
(2) 経常費用			
①事業費	13,236,364	13,472,549	△ 236,185
会場設営費	0	4,689,595	△ 4,689,595
企画・演出費	0	2,977,050	△ 2,977,050
本部団関係費	0	0	0
講師関係費	0	2,273,209	△ 2,273,209
広報費	0	1,600,152	△ 1,600,152
資料作成費	0	736,070	△ 736,070
報告書作成費	0	6,997	△ 6,997
懇親会費	0	378,520	△ 378,520
渉外費	0	18,900	△ 18,900
旅費交通費	0	243,158	△ 243,158
参加記念品代	0	220,238	△ 220,238
保険料	0	134,742	△ 134,742
通信費	0	174,780	△ 174,780
雑費	0	19,138	△ 19,138
給料手当	610,080	0	610,080
臨時雇賃金	7,000	0	7,000
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	1,820,800	0	1,820,800
通信運搬費	150,720	0	150,720
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	9,307	0	9,307
修繕費	0	0	0
印刷製本費	511,297	0	511,297
燃料費	27,827	0	27,827
光熱水料費	0	0	0
賃借料	535,550	0	535,550
保険料	215,220	0	215,220
諸謝金	1,137,444	0	1,137,444
租税公課	0	0	0
支払負担金	955,025	0	955,025
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	420,000	0	420,000
委託費	1,137,118	0	1,137,118
有価証券運用損	0	0	0
雑費	5,698,976	0	5,698,976
②管理費	5,918,947	5,267,488	651,459
役員報酬	0	0	0
給料手当	261,463	1,038,921	△ 777,458
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	0	0	0
旅費交通費	28,350	174,728	△ 146,378
通信運搬費	356,190	186,483	169,707
広報費	0	320,000	△ 320,000
減価償却費	867,568	876,445	△ 8,877
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	634,899	371,577	263,322
修繕費	0	204,491	△ 204,491
印刷製本費	957,895	631,150	326,745
燃料費	0	0	0
光熱水料費	648,982	644,760	4,222
賃借料	163,747	160,272	3,475
保険料	43,430	42,660	770
諸謝金	0	0	0
租税公課	1,500	0	1,500
支払負担金	1,058,350	0	1,058,350
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
委託費	285,750	0	285,750
有価証券運用損	0	0	0
雑費	610,823	0	610,823
渉外費	0	281,365	△ 281,365
事務雑費	0	276,079	△ 276,079
管理雑費	0	58,557	△ 58,557
③負担金	0	1,859,110	△ 1,859,110
日本JC会費	0	544,840	△ 544,840
JCI会費	0	153,620	△ 153,620
国際協力金	0	204,400	△ 204,400
出向者負担金	0	90,000	△ 90,000
WE BELIEVE購読料	0	272,750	△ 272,750
地区協議会負担金	0	138,500	△ 138,500
ブロック協議会負担金	0	455,000	△ 455,000
経常費用計	19,155,311	20,599,147	△ 1,443,836
当期経常増減額	△ 878,895	△ 81,021	△ 797,874
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 878,895	△ 81,021	△ 797,874
一般正味財産期首残高	31,612,857	31,693,878	△ 81,021
一般正味財産期末残高	30,733,962	31,612,857	△ 878,895
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	30,733,962	31,612,857	△ 878,895

社団法人鶴岡青年会議所
 正味財産増減計算書内訳表
 2011年1月1日から2011年12月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				その他会計	法人会計	内部取引消去	合計
	地域発展推進事業	青少年育成事業	共通	小計	会員資質向上事業			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1)経常収益								
①受取入会金	0	0	0	0	0	195,000	0	195,000
受取入会金	0	0	0	0	0	195,000	0	195,000
②受取会費	0	0	6,458,045	6,458,045	1,761,285	3,522,570	0	11,741,900
正会員受取会費	0	0	5,687,000	5,687,000	1,551,000	3,102,000	0	10,340,000
新入会員受取会費	0	0	545,545	545,545	148,785	297,570	0	991,900
特別会員受取会費	0	0	44,000	44,000	12,000	24,000	0	80,000
賛助会員受取会費	0	0	181,500	181,500	49,500	99,000	0	330,000
③事業収益	0	96,300	0	96,300	816,666	0	0	912,966
登録料収益	0	96,300	0	96,300	816,666	0	0	912,966
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0
④受取補助金等	30,000	2,000,000	0	2,030,000	12,500	1,230,000	0	3,272,500
受取地方公共団体補助金	30,000	2,000,000	0	2,030,000	0	0	0	2,030,000
受取民間補助金	0	0	0	0	12,500	1,230,000	0	1,242,500
⑤受取負担金	0	0	0	0	0	10,400	0	10,400
受取負担金	0	0	0	0	0	10,400	0	10,400
⑥受取寄付金	0	1,996,291	0	1,996,291	0	0	0	1,996,291
受取寄付金	0	1,248,000	0	1,248,000	0	0	0	1,248,000
募金収益	0	748,291	0	748,291	0	0	0	748,291
⑦雑収益	0	0	0	0	5,000	142,359	0	147,359
受取利息	0	0	0	0	0	1,928	0	1,928
その他雑収益	0	0	0	0	5,000	140,431	0	145,431
経常収益計	30,000	4,092,591	6,458,045	10,580,636	2,595,451	5,100,329	0	18,276,416
(2)経常費用								
①事業費	2,728,000	6,635,041	1,404,374	10,767,415	2,468,949		0	13,236,364
給料手当	0	0	479,349	479,349	130,731		0	610,080
臨時雇賃金	0	7,000	0	7,000	0		0	7,000
退職給付費用	0	0	0	0	0		0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0		0	0
旅費交通費	0	1,747,300	0	1,747,300	73,500		0	1,820,800
通信運搬費	900	81,960	0	82,860	67,860		0	150,720
減価償却費	0	0	0	0	0		0	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0		0	0
消耗品費	4,323	4,984	0	9,307	0		0	9,307
修繕費	0	0	0	0	0		0	0
印刷製本費	364,915	9,916	0	374,831	136,466		0	511,297
燃料費	0	27,827	0	27,827	0		0	27,827
光熱水料費	0	0	0	0	0		0	0
賃借料	223,725	41,580	0	265,305	270,245		0	535,550
保険料	9,000	203,220	0	212,220	3,000		0	215,220
諸謝金	1,093,000	0	0	1,093,000	44,444		0	1,137,444
租税公課	0	0	0	0	0		0	0
支払負担金	0	30,000	925,025	955,025	0		0	955,025
支払助成金	0	0	0	0	0		0	0
支払寄付金	0	420,000	0	420,000	0		0	420,000
委託費	287,118	50,000	0	337,118	800,000		0	1,137,118
有価証券運用損	0	0	0	0	0		0	0
雑費	745,019	4,011,254	0	4,756,273	942,703		0	5,698,976
②管理費						5,918,947	0	5,918,947
役員報酬						0	0	0
給料手当						261,463	0	261,463
退職給付費用						0	0	0
福利厚生費						0	0	0
会議費						0	0	0
旅費交通費						28,350	0	28,350
通信運搬費						356,190	0	356,190
減価償却費						867,568	0	867,568
消耗什器備品費						0	0	0
消耗品費						634,899	0	634,899
修繕費						0	0	0
印刷製本費						957,895	0	957,895
燃料費						0	0	0
光熱水料費						648,982	0	648,982
賃借料						163,747	0	163,747
保険料						43,430	0	43,430
諸謝金						0	0	0
租税公課						1,500	0	1,500
支払負担金						1,058,350	0	1,058,350
支払助成金						0	0	0
支払寄付金						0	0	0
委託費						285,750	0	285,750
有価証券運用損						0	0	0
雑費						610,823	0	610,823
経常費用計	2,728,000	6,635,041	1,404,374	10,767,415	2,468,949	5,918,947	0	19,155,311
当期経常増減額	△ 2,698,000	△ 2,542,450	5,053,671	△ 186,779	126,502	△ 818,618	0	△ 878,895
2. 経常外増減の部								
(1)経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,698,000	△ 2,542,450	5,053,671	△ 186,779	126,502	△ 818,618	0	△ 878,895
一般正味財産期首残高	△ 5,364,045	△ 492,997	6,746,515	889,473	916,787	29,806,597	0	31,612,857
一般正味財産期末残高	△ 8,062,045	△ 3,035,447	11,800,186	702,694	1,043,289	28,987,979	0	30,733,962
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 8,062,045	△ 3,035,447	11,800,186	702,694	1,043,289	28,987,979	0	30,733,962

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。なお、主な耐用年数は次のとおりである。

建物	24年
什器備品	5～15年

2. 会計方針の変更

該当事項なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
社団法人鶴岡青年会議所基金				
定期預金	1,322,380	130,667	-	1,453,047
合 計	1,322,380	130,667	-	1,453,047

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち正味指定財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
社団法人鶴岡青年会議所基金				
定期預金	1,453,047	-	1,453,047	-
合 計	1,453,047	-	1,453,047	-

5. 担保に供している資産

該当事項なし。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	19,007,662	11,345,209	7,662,453
什器備品	4,305,565	2,734,846	1,570,719
合 計	23,313,227	14,080,055	9,233,172

7. 保証債務

該当事項なし。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
6月例会補助金	鶴岡市	-	30,000	30,000	-	-
希望の光事業補助金	鶴岡市	-	2,000,000	2,000,000	-	-
赤川花火	花火委員会	-	1,200,000	1,200,000	-	-
2月例会補助金	山形ブロック協議会	-	12,500	12,500	-	-
東北青年フォーラムブース出店	花巻青年会議所	-	30,000	30,000	-	-
合 計		-	3,272,500	3,272,500	-	

10. 指定財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項なし。

11. 関連当事者との取引の内容

該当事項なし。

12. 重要な後発事象

該当事項なし。

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金及び普通預金を含めている。なお、前期末残高及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科目	前期末残高	当期末残高
現金	32,464	99,416
預金	2,127,273	1,933,037
次期繰越収支差額	2,159,737	2,032,453

社団法人鶴岡青年会議所
貸借対照表
2011年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	99,416	32,464	66,952
普通預金	1,933,037	2,127,273	△ 194,236
未収入金	1,600	0	1,600
仮払金	3,690	0	3,690
流動資産合計	2,037,743	2,159,737	△ 121,994
2. 固定資産			
(1)特定資産			
社団法人鶴岡青年会議所基金	1,453,047	1,322,380	130,667
特定資産合計	1,453,047	1,322,380	130,667
(2)その他固定資産			
建物	7,662,453	8,375,241	△ 712,788
什器備品	1,570,719	1,725,499	△ 154,780
土地	18,000,000	18,000,000	0
出資金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	27,263,172	28,130,740	△ 867,568
固定資産合計	28,716,219	29,453,120	△ 736,901
資産合計	30,753,962	31,612,857	△ 858,895
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	20,000	0	20,000
流動負債合計	20,000	0	20,000
負債合計	20,000	0	20,000
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	30,733,962	31,612,857	△ 878,895
(うち特定資産への充当額)	(1,453,047)	(1,322,380)	(130,667)
正味財産合計	30,733,962	31,612,857	△ 878,895
負債及び正味財産合計	30,753,962	31,612,857	△ 858,895

社団法人鶴岡青年会議所
財産目録

2011年12月31日現在

科目		金額		
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	(一般会計) 現金手許有高	99,416		
普通預金	(一般会計) 山形銀行	1,002		
普通預金	(一般会計) 荘内銀行	1,000		
普通預金	(一般会計) きらやか銀行	1,000		
普通預金	(一般会計) 鶴岡信用金庫	1,930,035		
未収入金	(一般会計) 庄内中央青年会議所	1,600		
仮払金	(一般会計) 1月例会通信費	3,690		
流動資産合計			2,037,743	
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
社団法人鶴岡青年会議所基金 定期預金				
	(基金会計) 鶴岡信用金庫	1,453,047		
(2) その他固定資産				
建物	(JC会館会計) JC会館	7,662,453		
什器備品	(JC会館会計) 電話設備等	1,570,719		
土地	(JC会館会計) JC会館敷地	18,000,000		
出資金	(一般会計) 鶴岡信用金庫	30,000		
その他固定資産合計		27,263,172		
固定資産合計			28,716,219	
資 産 合 計				30,753,962
II 負債の部				
1. 流動負債				
前受金	(一般会計) 2012年度賛助会費	20,000		
流動負債合計			20,000	
負 債 合 計				20,000
正 味 財 産				30,733,962

監査報告書

社団法人 鶴岡青年会議所
理事長 工藤 規行 殿

2012 年 1 月 6 日
社団法人 鶴岡青年会議所

監事 板垣 一紀 

監事 佐藤 智信 

監事 相馬 大 

私達は、2011 年 1 月 1 日から 2011 年 12 月 31 日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法の概念

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。



Tsuruoka junior Chamber Inc.
REPORT